

令和5年度 学生FD CHAmmiT 学部提案書に基づく学生への回答書

1 学生との協議の場について

実施日	実施内容
<p>令和5年11月27日</p> <p>令和5年11月28日</p>	<p>CHAmmiTでは2グループに分かれて各々で議論がなされたこともあり、情報共有および意見の集約、さらに学部の現状報告を行うために意見交換会の場を設けることにいたしました。そこで、参加者16名および学生FD活動推進プロジェクトの学生スタッフに対し、意見交換会の日程調整を行いました。その結果、全員が一緒に集まれる機会がなかったことから以下の2日に分けて開催しております。なお、学生の参加を優先するため、教職員側はCHAmmiTに参加した教員1名と、現状説明のため教務課職員3名が意見交換会に参加しております（下記の人数は学生のみ）。</p> <p>11月27日(月) 2限 (10:40~12:10) 3名</p> <p>11月28日(火) 4限 (14:40~16:10) 6名</p> <p>※参加できなかった学生もメールで情報共有を行い、意見をもらっております。</p> <p>上記の意見交換会で集約された提案内容を、教員3名と職員3名にて検討し、下記の提案書への回答を作成いたしました。</p>

2 生産工学部から学生へのメッセージ

<p>学生FD CHAmmiTによる学部提案書は、今回で4回目となります。学部提案書に関しては、当初はコロナ禍でもあり、オンライン環境や授業のあり方など、オフキャンパスの状況に対する内容であったものが、オンキャンパスの内容にシフトしていることから、学生の活動がキャンパスに戻ったことが実感でき、嬉しく思っています。今回は、提案書の内容を各項目に整理いただいたこともあり、対応内容を学部の各委員会や各課で検討することが、スムーズに出来たことに感謝しています。特に【設備】の項目に関しては、事務局の協力も得て、殆どの項目が「対応済み」となっております。教室の後方モニターの設置やWi-Fi環境改善に関しては、予算措置も行っていただきました。これにより、学修環境等が大きく改善できたと思っております。次年度以降は、学生FDという着眼点で、学生の学修効果があがるような提案をお願いしたいと思っております。積極的なご意見をお待ちしております。</p>
--

3 学部提案書の対応について

「理想の学部」にするための提案について

項目	対応済	対応中	検討中	対応内容
<p>【設備】</p> <p>コンセントの数が足りず、全体に行き渡らないとの事案がある為、既存の建物には延長コードを貸し出す等の対応をして欲しい。また新規の建物にはコンセントのプラグの数を増やす等の対策をして欲しい。</p>	○			<p>本学部では、教育研究、管理運営用に供する設備へ電源を供給するため、構内に電源コンセントが設置されています。</p> <p>PC室などでは電源コンセントが十分に設置されておりますが、一般教室などについては、建物の竣工時点では近年のパソコンの必須化や長時間使用が想定されておりませんでした。</p> <p>電源コンセントの増設や提案のあった延長コード貸出などは、電気設備の増強を伴うため、直ちに対応することが難しい状況にありますので、可能であれば、事前に自宅などで十分に充電を行った上で、省電力モード設定やモバイルバッテリーを活用するなど、授業の受講途中等で充電が切れないう対策をお願いいたします。</p> <p>また、新規の建物においては、教室の利用方法や授業内容も含めて、必要に応じた電源コンセント数について検討していきます。</p>
<p>【設備】</p> <p>建物設置型のプリンターについてはコピー機能が使用できるようにして欲しい。また、カラーでの印刷・コピーが円滑にできるように改善して欲しい。</p>	○			<p>共用プリンターでコピー機能も使えるように改善します。</p> <p>カラー印刷やコピーを円滑にできるように改善することについては、より具体的に意見を伺う場を設けますので、そこで提案について詳しく教えてください。</p>
<p>【設備】</p> <p>スマホからのプリントが出来るように改善して欲しい。</p>	○			<p>現在の環境でスマホからも印刷できます。</p> <p>学生に広く知ってもらえるよう、利用に関する周知の方法を改善します。</p>
<p>【設備】</p> <p>大きな教室も小さな教室と同様、前方にモニターが一つしかないため、後の方は見えにくい。後にもモニターを設置して欲しい。</p>	○			<p>大教室については、後方モニターの設置を令和5年度中に対応済みです。</p>

令和5年度 学生FD CHAmmit 学部提案書に基づく学生への回答書

項目	対応済	対応中	検討中	対応内容
【設備】 ・wifiの速度を上げて欲しい。 ・wifiが安定して利用できるようにして欲しい。		○		既に学内のWi-Fi利用環境を改善すべく計画を進めています。 今年度と次年度に亘り、通信速度が遅い旧式の機器を高速な最新型にリプレースしていきます。これにより速度や安定性が改善されるはずで す。
【学習】 他学科の授業を円滑に履修できるようにして欲しい。	○			自学科の科目と同様にWEB履修登録ができればという話かと思いますが、他学科の科目ですので、シラバスだけでは分からない内容（必要となる事前知識など）を直に科目担当者に確認する機会にもしております。そのため面倒には感じるかもしれませんが、現状での最善の方法とご理解ください。 （参考：他学科科目の履修手続き） 自分の所属とは異なる学科の専門科目の履修を希望する場合は、「他学科・他専攻専門科目履修許可願」（ピンク色の用紙。教務課・実務校舎事務課で配付）に各自が授業担当者の承認印を受領した上で、期間内に教務課へ提出してください。なお、これらの科目はWeb履修登録できません。提出された「他学科・他専攻専門科目履修許可願」に基づき、教務課が登録を行います。
【学習】 既に修得した単位をオンデマンドなどで学び直しができるようにして欲しい。			○	現在検討しているところです。ただし、システムを構築するためには費用等も大きく関係するため実現の時期は未定です。
【学習】 TAがいると学生はTAにすぐ質問をして、自分で考えなくなっている。TAに質問をする時間に制限を設けるなどマニュアルをつくとよいのではないか。		○		科目により運用が異なるので、共通の運用ではなく、科目の特性に合わせた検討になると考えております。
【学習】 前項のTAの問題に関わり、発展的ではあるが、レベル別のクラス分けをして、サポートが必要なクラスは少人数体制で授業をする。	○			レベル別や少人数体制の授業については継続的に議論しておりますが、そのメリットの反面、同一科目であってもサポートの濃度が学生によって変わったり、学習内容の深さや評価基準がクラスによって変わってしまう可能性があったり、デメリットも考慮する必要がございます。現状は可能な限り同等なサポートができるよう、限りある学内のリソース（教員数、TA数、教室数など）のバランスを考慮してクラス運用を行っているところです。
【学習】 昨年度の提案書の回答にもあるが、フィードバックを必ず行う。そのために、最低限公開すべき内容を定める（マニュアル化する）。また、点数のみではなく、詳しいコメントが欲しい。			○	学生からの要望は周知しているところですが、対応できていない先生もいらっしゃることを承知しました。ただ、ルール化については、教員の合意形成ができるような内容として検討し、まとめる必要がありますので、継続して議論してまいります。
【教員の負担を減らすために】 教養科目系の先生を他学部の先生にすることで、専門教員を増やす。これによって、学生は様々な学びができる。	○			教員の負担を気に掛けていただき有難うございます。教員のパフォーマンスを上げるためにも負担軽減は重要と認識しております。 既に相互履修制度がありますが、生産工学部だけ受講する側というわけにはならないため、他学部に対して講義する側として科目を提供していく必要があります。トレードオフの関係にあるため、一概に教員の負担が減るとは限らない点をご理解いただければ幸いです。また、本学部ではEXPERIENCE（実体験）とLIBERAL ARTS（真の教養）の循環によりスパイラルアップさせるEL-CYCLEに取り組んでおります。LIBERAL ARTS（真の教養）を支える生産工学部ならではの教養科目の充実を目指していきたいと考えております。 一方、学生の多様な学びも不可欠であると考えております。現状は日本大学のスケールメリットを生かした相互履修制度を活用していただくこととなりますが、大学全体でオンライン授業の活用についての議論が進んでいる状況にもあります。

令和5年度 学生FD CHAmmit 学部提案書に基づく学生への回答書

項目	対応済	対応中	検討中	対応内容
<p>【教員の負担を減らすために】 授業終わりに先生に質問を行おうとしたが、忙しいということで対応してもらえないことがあった。先生が忙しすぎるのではないか。</p>	○			<p>大学教員は、授業だけではなく、研究や委員会の活動などもあり、いつでも対応できるとは限らない状況にはあります。そのため、オフィスアワーを設け、担当科目の学生対応を行う時間を必ず設けていますので、活用してもらえればと思います。また、メールアドレスなど連絡手段をシラバスに記載していますので、都合がつかない場合は連絡をしてもらえると対応を相談できると考えます。</p> <p>また、当該の案件については、教員側から授業後に対応できない旨の説明がなく、意思疎通に問題があったかもしれませんので、学生が困らないようにアナウンスするなどの対応を周知してまいります。</p>
<p>【教員の負担を減らすために】 専門の授業では企業の方や他のプロに授業をしてもらおう。</p>	○			<p>既に生産工学特別講義を始めとする科目で講演いただいたり、企業等に勤めている非常勤講師として授業を担当いただいたりしております。シラバスなどでは明示していませんが、専任教員だけでは運用が厳しい部分は、実績のある多くの非常勤教員に参画していただいております。もし、教員に過度の負担があるのであれば、リソースとカリキュラムのバランスが崩れていると思われるので、カリキュラムの検討も視野に入れたいと考えます。</p> <p>なお、学習面而言えば、専任教員の中には実務の経験を有する実務家教員もおり、机上では学べない、現場を踏まえた実践的なスキルを学ぶ機会を提供しております。</p>
<p>【システム】 ポータルサイトにおいて必修と選択の区別がつくようにして欲しい。</p>	○			<p>キャンパスガイドを見てもらうと分かるように、同じ科目でも学生の所属している学科やコースにより必修・選択・選択必修等異なるため現状では対応が難しいところです。</p> <p>なお、キャンパスガイドは冊子だけでなく、電子媒体も学生向けの資料サイトより配信しておりますのでご活用ください。 https://sites.google.com/view/nucit-guidance/%E3%83%9B%E3%83%BC%E3%83%A0</p>
<p>【システム】 教室ごとに授業での使用時間、授業名を書いた紙を入りに掲示する。ポータルサイトに教室使用一覧を載せる。</p>		○		<p>教室の利用状況は高頻度で変更されているのが現状です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 上限が決まっていない教養科目などで教室定員数を超える ・ 上記の教室変更による玉突きでの変更 ・ 授業内容による教室の設備の問題での変更 ・ 授業内容による教室の使い分け など <p>そのため、紙で掲示することは難しい状況です。</p> <p>なお、昨年度も空き教室を確認するシステムの要望があり、学生向けに教室管理システムの一部を閲覧可能にすることを準備しています。令和6年度中には閲覧可能になる予定です。</p> <p>このほか、自習室という点で、図書館のフリースペースなどが利用されていない状況であると意見交換会で情報提供がありました。知られていない自習スペースや環境の情報など学生FD活動推進プロジェクトと協力して学生視点でまとめられればと考えております。</p>

※令和6年4月1日現在の対応内容となっており、今後の状況によって変更する可能性があります。